

やさしいね、ひたちのまち

— 令和 3 年度 —

事業報告書

目 次

1 法人運営事業

(1) 理事会・評議員会等	3
(2) 会員募集運動	4
(3) 顕彰事業	4
(4) 調査広報事業	4
(5) 地域福祉活動団体助成	5
(6) 善意銀行運営事業	5
(7) 生活福祉資金貸付事業	5
(8) 社会福祉資金貸付事業	6
(9) フードバンク事業	6
(10) 社協備品貸出事業	6
(11) 地域福祉推進事業	7
(12) あんしん・安全ネットワーク事業	8
(13) 地域生活支援事業	9
(14) ひたちボランティアプラザ事業	11
(15) 福祉教育・福祉学習事業	13
(16) おもちゃライブラリー等運営事業	14
(17) 子育て支援ボランティア養成事業	15
2 歳末たすけあい募金配分事業	16
3 地域活動支援センター(ゆうあい)事業	16
4 ふれあい健康クラブ事業	17
5 介護相談員派遣事業	18
6 ふれあいサロン事業	19
7 子どもの広場事業	22
8 日立市成年後見サポートセンター事業	23
9 生活困窮者自立相談支援事業	25
10 その他の事業	27

令和3年度 日上市社会福祉協議会事業報告

近年の核家族化の進行や個人の権利を重視する傾向などに伴い、私たちを取り巻く社会環境や生活環境が大きく変化してきています。

そのような中、近隣住民みんなで子どもを育てることや、高齢者や障がい児・者等の社会的弱者を、支えあい助けあう機能が低下しており、改めて、昔ながらの人と人のつながりの大切さ、さらには、互いに尊重し、誰もが孤立することなく、その人らしい暮らしを送ることができる社会の実現が求められています。

日上市社協では、市と一体的に策定した「日上市地域福祉推進計画 2019」【令和元年度～5年度】の基本理念「あんしん つながり 支えあう やさしいまち 日立」に基づき、地域福祉を進める中核機関として、支援を必要とする人々への生活支援体制の充実を図りながら、「地域共生社会」のシステムづくりを推進しました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、適宜、市と協議をしながら、地域と連携した対策を行い、住民が安心して参加することができるよう「新しい生活様式」による福祉事業を展開しました。

具体的には、地域関係者、民生委員児童委員をはじめ、福祉、介護等の機関団体の協力を得ながら、地域に根ざした福祉事業を推進するとともに、地区担当職員のスキルアップと地区活動への積極的な参画による、23のコミュニティ単会との連携・協働体制の強化に努めました。

また、地域福祉活動の根幹である「あんしん・安全ネットワーク事業」（要支援者への見守り活動）の一層の充実強化と併せて、より支援が必要な見守り対象者の生活課題の解決に向け、専門職等の協力と訪問活動や声かけなどを強化する「あんしん・安全ネットワーク強化事業」についても、今年度で計画目標どおり全 23 地区で実施することができました。

さらに、地域関係者をはじめ、多様な機関・団体、市等と連携し、支援の必要な方の暮らしを支えるためのコーディネートを行う、「生活支援コーディネーター」を配置し、「生活サポート連絡会議」や生活支援サービスを行う企業や機関・団体等で構成する「事業者部会」などにおいて、情報共有や意見交換を重ねながら、地域と事業者との調整役として具体的な生活支援サービスのマッチングを進めました。

ボランティア・市民活動の振興では、引き続き、中間支援機能としての「ボランティアプラザ」の強化と市民参加のシステムづくりを進めるとともに、ボランティアグループとの協議やボランティア・市民活動団体、NPO法人、企業、施設等と連携を図りました。また、活動実践者と依頼者とのマッチングや活動希望者には適切なコーディネートを行いました。

子育て支援関連事業においては、「おもちゃライブラリー事業」や「子どもの広場事業」とおして、親子、子ども同士の交流と、子育てに関する情報交換ができる場の提供に努め、専門職が、親などからの相談にも応じ、子育てをしやすい環境づくりを進めました。また、高齢者の健康づくりと介護予防の観点から「ふれあいサロン事業」や「ふれあい健康クラブ事業」を推進し、生きがいと健康づくりの増進を図りました。

さらに、子どもの孤食等の解消や子どもを取り巻く地域との交流を目的とした「子ども食堂」においては、会場を増設したほか、実施団体等の運営支援に努めました。

「日立市成年後見サポートセンター」では、成年後見制度の内容や申立て方法等をはじめ、関連する制度に対しても広く相談に応じるとともに、専門職で構成された運営委員会をおして、関係機関との連携を深めました。また、成年後見制度を市民に理解いただくための広報啓発や、休日相談会を実施したほか、法人（市社協）として、後見等を受任し、市民の安心な暮らしと権利の尊重に努めました。併せて、センターの機能の一つとして「日常生活自立支援事業」での金銭管理業務を実施したほか、「介護相談員派遣事業」などをおして、利用者本位のサービスの提供を進めました。

「日立市自立相談サポートセンター」では、新たに「家計改善支援事業」を加え、センターの機能強化を図り、経済的困窮をはじめ、就業、就学、依存症、引きこもりなど、支援が急務な世帯からの相談に応じ、寄り添いながら、助言から自立に至るまでのサポートに努めたほか、新型コロナウイルスにより収入の減少や失業し、生活が困難になった世帯等の生活再建への一助として、生活福祉資金の特例による「緊急小口資金、総合支援資金」の貸付申請業務を行いました。

さらに、市民から寄附を受けた食品を食の支援が必要な世帯に提供する、「フードバンク事業」を実施するとともに、地域関係者からも食品を募り、市社協が行う各事業での要支援者に広く配布するなど、「食の循環活動」に取り組みました。

法人運営に関しては、「理事会」、「評議員会」において重要事項等を審議するとともに、それぞれに改選を行うなど、経営組織のガバナンスの強化や運営の透明性の確保に努めました。

貴重な自主財源である「会員会費・共同募金」については、23のコミュニティ単会をはじめとする地域関係団体の協力のもと、市内全域で実施しました。

また、広報活動として、「社協だより」を、市報に折り込む形式とし、全世帯への配布を進めたほか、ホームページやフェイスブックなど、SNSを積極的に活用した各種情報の発信に努めました。

なお、今年度実施した具体的な事業は、以下のとおりです。

1 法人運営事業

(1) 理事会・評議員会等

ア 理事会の開催（5回開催）

社会福祉協議会の執行機関として、組織運営及び事業等を進めるための協議を行った。

理事会では、事業報告や決算をはじめ、事業計画、予算、評議員の改選により候補者の推薦、社協会長顕彰候補者など、15の議案について審議した。

（5回開催のうち2回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面表決により実施）

【開催期日】 6/11、6/30、9/7 付書面表決、1/12、3/30 付書面表決

議案第1号	令和2年度社会福祉法人日立市社会福祉協議会事業報告並びに収入支出決算について
議案第2号	社会福祉法人日立市社会福祉協議会理事候補者及び監事候補者の選定について
議案第3号	社会福祉法人日立市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について
議案第4号	社会福祉法人日立市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について
議案第5号	令和3年度第1回評議員会を書面表決にすることについて
議案第6号	社会福祉法人日立市社会福祉協議会正副会長の選任について
議案第7号	社会福祉法人日立市社会福祉協議会常務理事の選任について
議案第8号	社会福祉法人日立市社会福祉協議会補欠評議員選任候補者の推薦について
議案第9号	令和3年度社会福祉法人日立市社会福祉協議会会長顕彰被顕彰者について
議案第10号	令和3年度社会福祉法人日立市社会福祉協議会収入支出補正予算について
議案第11号	令和4年度歳末たすけあい募金配分計画について
議案第12号	令和4年度社会福祉法人日立市社会福祉協議会事業計画並びに資金収支計算書について
議案第13号	令和4年度社会福祉法人日立市社会福祉協議会事業等基金の取り崩しについて
議案第14号	令和4年度社会福祉法人日立市社会福祉協議会岡部より江福祉基金の取り崩しについて
議案第15号	令和3年度第2回評議員会を書面表決にすることについて

イ 評議員会の開催（2回開催）

社会福祉協議会の議決機関として、事業報告や決算、事業計画や予算等の審議、役員改選により理事及び監事の選任等を行った。

（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2回いずれも書面表決により実施）

【開催期日】 6/29 付書面表決、3/31 付書面表決

議案第1号	令和2年度社会福祉法人日立市社会福祉協議会事業報告並びに収入支出決算について
議案第2号	社会福祉法人日立市社会福祉協議会理事及び監事の選任について
議案第3号	令和3年度社会福祉法人日立市社会福祉協議会収入支出補正予算について
議案第4号	令和4年度社会福祉法人日立市社会福祉協議会事業計画並びに資金収支計算書について
議案第5号	令和4年度社会福祉法人日立市社会福祉協議会事業等基金の取り崩しについて
議案第6号	令和4年度社会福祉法人日立市社会福祉協議会岡部より江福祉基金の取り崩しについて

ウ 評議員選任・解任委員会の開催（2回開催）

評議員の選任、補欠評議員の選任等を行った。

【開催期日】 6/16、7/7

議案第1号	社会福祉法人日立市社会福祉協議会評議員の選任について
議案第2号	社会福祉法人日立市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員長の選任について
議案第3号	社会福祉法人日立市社会福祉協議会補欠評議員の選任について

(2) 会員募集運動

市社協への理解を図り、地域福祉事業やボランティア事業等を推進するための財源確保を目的に、各世帯（戸別）を対象とした一般会員募集運動を実施した。

また、福祉事業の財源の充実を図るため、企業法人等を対象にした特別会員の募集を行ったほか、年間をとおして個人からの賛助会員を募った。

【会員会費実績】

※（ ）内は令和2年度

区分	加入世帯等	会費額
一般会費	29,293世帯(31,771世帯)	11,697,985円(12,653,125円)
特別会費	57企業法人(56企業法人)	725,000円(710,000円)
賛助会費	47人(52人)	291,000円(304,000円)

(3) 顕彰事業

ア 「ふくしのつどい」の開催

日立市の福祉向上に尽力された方々の功績を讃えた。

・被顕彰者：個人40人、4団体

（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「ふくしのつどい」は中止）

イ 茨城県社会福祉大会

市内の被顕彰者の功績を讃えた。

・市内の被顕彰者：県知事表彰 個人36人

県社協会長表彰 個人10人、1団体（合計） 個人46人、1団体

（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「社会福祉大会」は中止）

(4) 調査広報事業

ア 社協だよりの発行（年5回） 4/20号、6/20号、9/20号、11/20号、2/5号

地域福祉事業及び地域における様々な福祉活動の推進状況や、最新の福祉情報、さらにはボランティア・市民活動を支援するボランティアプラザ事業などの各種事業を市民に広報した。特に、市民参加の募集記事等を積極的に掲載し、参加型の広報紙づくりに努めた。

また、市報の配布システムが10月から変更（全戸配布）になったことに伴い、11/20号から市報への折り込み配布方式とし、より多くの世帯に届くよう努めた。

さらに、広報モニター会議を開催し、提案された意見やアドバイスを参考に、市民に親しみやすい紙面づくりを進めた。


イ ひたちの福祉と保健の作成

日立市の福祉関係者のマニュアル「ひたちの福祉と保健」を市と共に作成し、社協関係者に配布した。（100部作成）

ウ ホームページ・フェイスブック・ツイッターの活用

ホームページやフェイスブック等SNSを活用した、社協の事業紹介やタイムリーな福祉情報の提供に努めた。

エ シンボルマーク・キャッチフレーズの活用

引き続き、シンボルマーク「」及びキャッチフレーズ「やさしいね、ひたちのまち」を積極的に活用するなど、広報活動等の強化に努めた。

(5) 地域福祉活動団体助成

日立市子ども会育成連合会、日立市高齢者クラブ連合会、日立市そよかぜの会、日立市母子寡婦福祉連絡会等へ運営助成を行うなど、団体の活動を支援した。

また、各障がい児・者団体（6団体）及び日立市福祉団体連絡協議会の運営助成を行い、連携協力を努めた。

さらに、日立市連合民生委員児童委員協議会、日立市コミュニティ推進協議会、日立市地域女性団体連絡会及び日立市女性防火クラブ連絡協議会の事業活動に助成し、各関係団体の活動を支援するとともに、事業等の連携に務めた。

(6) 善意銀行運営事業

【寄附受入状況】

区 分	件 数 (件)	金 額 (円)
金円 (指 定)	5 2	3, 2 6 0, 1 5 6
金円 (無指定)	0	0
物 品	1 0 3	
合 計	1 5 5	3, 2 6 0, 1 5 6

【寄附払出状況】

区 分	件 数 (件)	金 額 (円)
金 円	5 2	3, 2 6 0, 1 5 6
物 品	1 0 3	
合 計	1 5 5	3, 2 6 0, 1 5 6

(7) 生活福祉資金貸付事業

ア 貸付相談・申請手続き

低所得者世帯や障がい者世帯、生計中心者の失業により生活が困難となった世帯等の相談に応じるほか、各種資金の貸し付けを行い、経済的な自立と更生の助長に努めた。

また、本会が市役所本庁（社会福祉課内）に設置している日立市自立相談サポートセンター（生活困窮者自立相談支援機関）と連携し、相談者に対してより一層、自立の促進が図れるよう支援に努めた。

【申請件数と金額】

貸付の種類	申請件数(件)	申請金額 (円)
不動産担保型生活資金	2	1, 7 1 7, 0 0 0
教育支援費	1	2, 1 4 3, 0 0 0
合 計	3	3, 8 6 0, 0 0 0

イ 特例貸付相談・申請手続き（新型コロナウイルス感染症関連の貸付）

新型コロナウイルス感染症の影響による失業や休業などで、収入が減少し、生計の維持が困難となった世帯に対して、国の制度による特例の貸し付けの相談及び申請手続き等に対応した。

なお、福祉プラザのほか、市が設置した「新型コロナウイルス緊急総合相談窓口(本庁及び多賀市民プラザ)」にて、令和3年11月末まで、貸し付けに関する相談と申請手続きに応じた。

【申請件数と金額】

貸付の種類	申請件数(件)	申請金額 (円)
緊急小口資金	5 4 6	1 0 7, 4 5 0, 0 0 0
総合支援資金	6 5 3	3 4 0, 3 0 0, 0 0 0
〃 (延長貸付) ※令和3年 6月末日終了	2 1 3	1 1 4, 7 0 0, 0 0 0
〃 (再貸付) ※令和3年12月末日終了	4 6 6	2 5 1, 5 0 0, 0 0 0
合 計	1, 8 7 8	8 1 3, 9 5 0, 0 0 0

※累計 緊急小口資金 1,853 件 総合支援資金 1,934 件 総合支援延長 627 件
 総合支援再貸付 801 件 計 5,215 件 申請金額 2,136,930,000 円
 (令和2年3月25日～令和4年3月31日)

ウ 日立地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会 (参画)

- ・参加機関：日立市福祉事務所 (社会福祉課、子育て支援課)、市社協、日立公共職業安定所 (所管)
 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、担当者みの縮小開催)
 【開催日】5/21

エ 一体的実施事業運営協議会 (参画)

- ・参加機関：日立市福祉事務所 (社会福祉課、子育て支援課)、市社協、日立公共職業安定所 (所管)
 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面表決により開催)

(8) 社会福祉資金貸付事業

不時の支出により通常の生活が困難となった世帯に対して、5万円を限度として貸し付けし、生活困窮世帯の緊急の支援に努めた。

併せて、他制度の紹介や関連情報を提供、さらには、貸し付け対象外世帯には食の支援や相談者の自立した生活支援に向けてのアドバイス等を行った。

【相談件数・貸付件数及び貸付額】

- ・相談件数：90件 ・貸付件数：76件 ・貸付額：2,240,513円

(9) フードバンク事業

NPO法人フードバンク茨城と連携・協働して「きずなBOX (食品収集箱)」を福祉プラザに設置。また、社協だよりをとおして、活動を広く周知した。このほか、地域福祉推進員会議において、事前に、地域から食品の寄附を募集。会議時に持参いただき、自立相談サポートセンターで関わる生活困窮世帯やあんしん・安全ネットワーク事業、日常生活自立支援事業などの対象者に提供するなど、広く食の支援に努めた。

食品の受入状況	食品の払出状況
3,094点 (計1,750kg)	2,171点 (計1,334kg)

(10) 社協備品貸出事業

一般の市民を対象に車いす等を貸し出し、緊急時や旅行等の際の便宜を図ったほか、地域福祉関係者や学校等に対して行事用備品等を貸し出すなど、事業の充実・支援に努めた。

【社協貸出備品及び貸出状況】

(貸出件数：230件)

No.	備品名	件数	No.	備品名	件数
1	一般車いす	156	9	プロジェクター	5
2	体験用車いす	14	10	ビンゴゲーム	0
3	アイマスク	6	11	ポータブルマイク	9
4	高齢者疑似体験 (大人用)	9	12	ビデオデッキ	0
5	高齢者疑似体験 (子供用)	11	13	スクリーン	2
6	点字版	4	14	DVDデッキ	0
7	携帯点字版	5	15	ビデオ、CD	0
8	白杖	9	16	テント	0

(11) 地域福祉推進事業

地域や福祉関係者等の支援者が連携し、対象者の生活を見守る「あんしん・安全ネットワーク事業」をより充実させることを目指し、ネットワーク強化事業を全23地区で実施した。

また、地区担当職員や生活支援コーディネーターが地域と一体となり、個別支援をとおして、高齢者等の生活支援に努め、地域福祉の質の向上を図った。

併せて、各種会議や研修会等をとおして、地区同士のつながりを強化するとともに、一層の連携・協働に努めた。

ア 生活支援コーディネーターの配置（4人）

日常生活を送る上で何らかの支えを必要とする方は、介護保険等の制度以外にも様々な支援が必要となるケースが多いことから、そのニーズ把握と生活支援サービスのマッチングなどを行うため「生活支援コーディネーター」を配置。住民・関係機関・行政等と連携しながら、地域包括ケアシステムの推進に努めた。



イ 福祉部長等・地域福祉推進員合同会議の開催

市社協と各地区の連携強化や地区同士の情報交換を目的に会議を開催した。

【開催日】6/9

ウ 生活サポート連絡会議の開催

生活支援サービスの提供と充実を図るため、各地区関係者と生活支援サービス事業者が情報交換を行う場として生活サポート連絡会議（協議体）を開催した。また、事業者同士のつながりを深めるため、事業者部会を別途開催した。

【開催日】・生活サポート連絡会議（1回開催）6/9

・事業者部会（2回開催）5/21、12/8

エ 地域福祉推進員会議の開催（3回開催）

各地区の情報交換や関係機関等とのネットワークの構築の充実を目的に会議を開催した。

また、生活困窮者への食の支援を目的に、各地区から食品の寄附を募り、第3回（12/16）会議開催時に持ち寄っていた。 (お米、麺類、インスタント食品等 802 kg)

【開催期日】7/5、10/27、12/16



オ 新任地域福祉推進員研修会

各地区で新たに地域福祉推進員に就任された方を対象に、小地域福祉活動に関する取り組み状況や推進員としての課題等を共有する研修会を開催した。

【開催期日】7/20

カ 地区担当職員の配置

市社協職員（10人）による地区担当制の充実を図り、23のコミュニティ単会との一層の連携に努めた。地区担当職員は地区への定期訪問等を行い、課題や要望を集約、担当者同士の定例ミーティングや地区関係会議において情報共有等を図った。

- ・地区担当職員による地区定期訪問等状況：23地区805回訪問（定期訪問200回、会議・研修会等152回、要支援への個別支援453回）
- ・地区担当者同士のミーティングの実施：年12回（毎月1回）

キ 地域福祉活動マンパワーアップ事業（「ボランティア・地域活動入門講座」と同時開催）

地域福祉活動を支える人材の発掘・育成のため、市民を対象に活動に関する相談会を開催。市社協職員を交えた話し合いを中心に、参加者が希望する活動などを聞き取りながら、具体

的な活動に向け、コーディネートを行った。(活動体験にあたっては、市社協職員が同行)
 なお、事業を毎年継続実施することで、地域福祉の人材発掘、育成、拡充に努めた。
 (延べ参加者数 7人)

【開催期日】7/13、10/5、12/7

ク 地域福祉事業負担金交付

23地区へ運営費及び活動費を負担金として交付した。

基本事業：25,795,000円

指定事業：8,878,550円

選択事業：2,343,400円

総 額：37,016,950円

(12) あんしん・安全ネットワーク事業

地域福祉活動の基盤となる、あんしん・安全ネットワーク事業は、近隣住民をはじめとする地域福祉関係者が協力し、安否確認や支援活動を行うことで、認知症や社会的孤立をはじめとする様々な生活課題の早期発見・早期対応に努めた。

また、日立市避難行動要支援者名簿と関連付けた登録勸奨に努めた。

ア チーム協力者の拡充と育成事業

各地区と連携し、日常の安否確認活動の強化を目的に、チームの拡充と協力者の充実に努めた。

【あんしん・安全ネットワークチーム結成状況】

区 分	チーム数	チーム協力者内訳 (人)						計
		地域福祉関係者	近隣住民	民生委員	ボランティア	自治会	その他	
ひとり暮らし	2,101	669	1,500	2,101	78	109	305	4,762
家族等と同居	449	147	301	449	13	34	31	975
計	2,550	816	1,801	2,550	91	143	336	5,737

チーム数	チーム結成数			チーム解散数					
	合計	内 訳		合計	内 訳				
		ひとり暮らし世帯	同居世帯		死亡	入院・入所	家族等と同居	転居	その他
2,550	252	188	64	285	105	137	25	15	3
33チーム減	男性 98 女性 154			男性 79 女性 206					

イ 対象者訪問活動

チーム協力員が日常の安否確認のため、対象者宅への訪問を定期的を実施した。

また、対象者の生活の実態把握を目的に生活状況調査(6項目)を継続して行うことで、支援を必要とする方を絞り込み、今後の個別支援に向けた足がかりをつくった。

ウ あんしん・安全ネットワーク強化事業

ネットワークチーム対象者の中で、日常生活がより心配な方のお宅へ定期訪問し、暮らしの様子を把握することと併せ、専門職を含めた関係者同士の横のつながりを強化した幅の広い支援の取り組みを実施した。

また、訪問をする中で具体的対応が必要となった場合には、関係者を交えたケース検討のケア会議を開催し、必要に応じて各種の生活支援サービスにつなげた。

<全23地区で実施・対象者数55人>



エ 地域住民主体型訪問支援事業

介護保険制度における総合事業該当者の高齢者等を対象に、住民主体による訪問型サービスとして、あんしん・安全ネットワーク事業と連動した日常生活における簡易な支援活動や家屋の不具合箇所の修繕等を行った。(10件)

オ 巡回安全サービス事業

専門的な知識や技術を持つ市内の企業等と連携しながら、チーム協力者と共に対象者宅を訪問。電気、ガスの安全点検や家屋点検、火災予防や高齢者を狙った悪質商法への注意を呼びかけた。

なお、訪問後には、点検結果を基に、早急に対処すべき内容等を関係者で確認した。(全23地区58件)



カ 家屋点検強化事業

日立トンカチの会(日曜大工ボランティア)の協力を得て、あんしん・安全ネットワーク強化事業対象者宅の点検活動を実施した。点検活動により、家屋の修繕をはじめ、さらなる対象者の生活状況の把握につながった。(6地区6人)

キ あんしん・安全ネットワーク事業研修会(2回開催)

各地区のチーム協力員を対象に活動事例発表や情報提供、意見交換などを実施。日ごろの活動内容を確認しあいながら、より充実したネットワーク活動に向けた研修会を開催した。

【開催期日】8/4、1/14

(13) 地域生活支援事業

ア 日常生活サポート事業

在宅の要支援者に対して、ボランティアによる簡易な家屋の修繕を行うなど、日常生活におけるサポート事業を実施した。

【簡易な家屋の修繕に関する事業実施状況】

依頼者	件数	主な支援内容
ひとり暮らし高齢者等	113	網戸の張替え、引き戸の戸車の調整、住宅用火災警報器取付など

【障がい児・者の外出先サポート事業実施状況】

依頼者	件数	主な支援内容
身体障がい者等	7	市内会場にて開催される絵画展への介添え

イ 訪問福祉美容サービス事業

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

ウ 子ども食堂事業

経済的理由や孤食などで食生活に不安のある子どもを対象に、温かい食事や地域との交流の場を提供することを目的として、新たに1会場を増やし市内8会場において「子ども食堂」を実施した。市社協は市と協働で、それぞれの運営団体への連携と支援に努めた。

【開催状況】

名 称 (開始年月)	実施主体	開催日時	開催場所	実施回数 (回)	参加延人数 (人)				ボランティア 参加延 人数 (人)
					子ども	大人	高齢者	合計	
わくわく十王 クラブ (H28. 11月)	わくわく 十王クラ ブ	第3木曜日 17:00～19:00	県北生涯学習 センター	14	120	53	0	173	95
みんなの居場 所みなみ風 (H29. 4月)	NPO法人 ふれあい 坂下	第2火曜日 15:00～19:00	日立市南部支 所2階	13	113	71	3	187	115
おかえり！ ごはん食堂 (H29. 9月)	おかえ り！ごは ん食堂実 行委員会	第3月曜日 16:00～19:00	弁天町1丁目 11-4地内（銀 座通り：山本 ビル）	13	322	175	50	547	82
なるさわドリ ームズ (H31. 3月)	なるさわ ドリーム ズ	第1・3金曜日 17:00～ 19:00	日立市成沢 交流センタ ー	24	362	212	386	960	126
諏訪ひまわり 食堂 (R1. 10月)	諏訪ひま わりの会	第2月曜日 17:00～19:00 第4土曜日 12:00～14:00	介護支援セン ターひまわり	24	421	502	22	945	184
塙山みんなの カフェ (R2. 5月)	塙山みん なのカフ ェ委員会	毎週木曜日 17:00～19:00	日立市塙山交 流センター	49	367	385	1,048	1,800	347
のびのびみな み風 (R2. 12月)	NPO法人 ふれあい 坂下	第1・3金曜日 17:00～19:00	南高野町3丁 目9-8地内 (NPO法人ふ れあい坂下事 務所2階)	24	175	68	0	243	87
多賀り屋食堂 (R3. 7月)	多賀り屋 の会	毎週木曜日 17:00～19:00	千石町1-3-9 地内(千石家2 階)	36	152	57	0	209	153
合 計				197	2,032	1,523	1,509	5,064	1,189

エ 障がい児・者サロン事業

市内では初めての障がい児・者サロン「ハートすまいる」(H29. 4開始)の運営にあたって
いる「ハートねっと日立市民の会」に運営費補助等での支援を行った。

(会場：つどいの広場)

・実施回数：14回 ・利用者延人数：64人 ・協力者延人数：52人

オ 居場所づくり支援事業

ひきこもりやニート等の若者を支援するNPO法人「アストリンク」と共催し、福祉プラザ
において、居場所づくり(つどいの場)の環境整備を実施したほか、広く相談に応じるとと
もに、野外での野菜づくり体験(ふれあい菜園)をとおして、当事者等の外出機会や社会と
関わる機会の支援に努めた。

(ア) つどいの広場(ひたちゃかい)の運営補助

(イ) 合同相談会の開催

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

(ウ) ふれあい菜園の実施

(14) ひたちボランティアプラザ事業

ボランティアや市民活動の支援や情報提供を行う総合的なセンターとして、活動希望者、ボランティア・市民活動団体、NPO法人、機関団体等からの相談やニーズに応えるとともに、各種事業を展開した。

また、ボランティア・市民活動団体、NPO法人等との連携・協働に努めるために、日々の活動支援をはじめ、様々な形でのサポートを行った。

ア ひたちボランティアプラザ運営委員会（2回開催）

市民の主体的な活動を支援し、市民参加のまちづくりを積極的に進めるため、ボランティアプラザ事業への意見等をいただいた。

【開催期日】6/25、1/21

イ ボランティア総合相談・支援事業

市民をはじめ、関係機関・団体等からのボランティア活動に関する相談（活動希望や派遣依頼等）に応じ、ボランティア・市民活動を広く支援した。

(ア) ボランティアコーディネート

個人、団体等からのボランティア派遣依頼を受け、団体・個人ボランティアとのコーディネートをを行った。

【ボランティアに関する相談件数】

①ボランティアの派遣依頼 185件

<依頼者ごとの区分>

依頼者	個人			団体	
				介護福祉施設	コミュニティ単会福祉部等
依頼内容	外出支援	家屋修繕	その他	行事等での 演芸披露	ふれあい健康クラブ、ふれ あいサロンでの演芸披露
	買い物、絵画 展見学など	網戸張替え、引き戸 の戸車の調整など	点訳、へ アカット	楽器演奏等	ミュージックケア、ハーモ ニカ演奏等
派遣件数 (件)	7	113	2	2	61
件数(件)	122			63	
合計(件)	185				

②ボランティア活動希望件数・・・22件

(イ) 人材バンク登録

ボランティアグループが登録し、グループ間の連携・協働に努めた。また、特技や技術を活かした活動を希望する個人登録も行い、様々なボランティア派遣ニーズに対応した。

- ・ボランティアグループ登録数 84グループ
- ・個人ボランティア登録者数 72人

ウ 連携・協働事業

(ア) 市のボランティア情報相談コーナーとの連携

市のボランティア情報相談コーナー（コミュニティ推進課内）と連携し、情報の共有化を図りながら市民や機関・団体への情報提供や幅広いニーズに関する相談に協力支援した。

(イ) 企業ボランティアネットワーク

適宜、加入企業に対して、福祉、ボランティア活動に関する情報提供を行った。

また、例年どおり、社会貢献活動の一環として、赤い羽根募金において、職域での協力をいただいた。（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ネットワーク会議、赤い羽根の街頭募金活動は中止）

【企業ボランティアネットワーク加入企業団体】

No.	企業名	No.	企業名
1	東京ガス(株)日立支社	6	(株)常陽銀行日立支店
2	東京電力パワーグリッド(株)茨城総支社	7	(株)日立製作所 大みか事業所
3	J X金属(株)日立事業所	8	日立グローバルライフソリューションズ(株)
4	(株)日立製作所エネルギービジネスユニット日立事業所	9	日立市役所社会福祉課
5	(株)日立リアルエステートパートナーズ	10	日立市社会福祉協議会

エ 情報収集・発信事業

(ア) ボランティアプラザニュース発行（年5回発行）

広報紙を通じて、ボランティア活動実践者の紹介やボランティアに関する最新情報を広く市民に提供し、ボランティア・市民活動への理解と普及を図った。（社協だよりと合併号）

(イ) 声の社協だより録音作成（年5回）

ボランティアグループの協力により音訳作業を行い、市社協のホームページに「声の社協だより」を掲載。多くの方が情報を共有できるよう努めた。

（協力ボランティア：日立リーディングサービスグループ）

オ 啓発・研修事業

(ア) ボランティア・地域活動入門講座（3回開催）

市民が主体となり、ボランティア・市民活動や地域福祉活動、子育て支援活動等に積極的に取り組むことができるよう、さらには、それぞれの活動の充実に向け「福祉のまちづくり」に参加していただく担い手を育成することを目的に開催した。

(イ) 第16回ふれあいクリーンハイキング

（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

(ウ) シニア地域活動入門講座

（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

(エ) ボランティア・市民活動実践者研修会

（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

カ 災害支援事業

(ア) 「災害初動期対応チーム」への登録

県社協が進める、県内で発生する災害への初動期に、各市町村社協職員がチームにより、対応できる体制づくりに登録した。（1人新規登録、計2人）

(イ) 「災害ボランティアセンター用資機材ストックヤード」の維持管理

災害の発生時に有効活用ができるよう、県社協が、福祉プラザ敷地内に設置した、災害ボランティアセンター用資機材ストックヤードの維持管理を行った。

【資機材】スコップ、デッキブラシ、竹箒、ドライワイパー、一輪車、バール、防塵マスク土嚢袋、高圧洗浄機等

(ウ) 「災害時等における協力体制に関する協定」の締結

市内では初めて、一般社団法人日立青年会議所と、有事の際に設置をする「災害ボランティアセンター」の運営において、人材の派遣や資機材等の協力をいただくこととした協定を締結（11月12日）し、災害支援の強化を進めた。

キ ボランティアグループ用印刷機等の貸出

ボランティア・市民活動団体及びNPO法人を対象に、資料等を作成するための印刷機の貸し出しを行った。（延べ11団体、33人）

(ボランティアルームのミーティングスペースの貸出は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

ク ボランティア活動保険

安心してボランティア活動ができるよう、活動保険の加入促進に努めた。

・「基本タイプ」加入者 1,609人 ・「天災タイプ」加入者 1人

ケ ボランティア・市民活動団体、NPO法人への助成支援

本会に登録しているボランティアグループを対象に「ボランティアグループ活動費」を助成した。(16グループ)

また、各種財団等の助成申請の案内を行い、活動における財源確保を支援した。

(15) 福祉教育・福祉学習事業

ア 福祉体験学習の実施

福祉への理解と関心を高めてもらうための「福祉体験の出前サービス」を広くPRし、地域関係者やボランティアグループ等の協力を得ながら、市内の小学校等(計4校)における出前依頼に応じた。また、福祉体験学習の実施をとおして、児童・生徒の福祉への関心と思いやりの醸成に努めた。

No.	実施内容	小学校等実施延件数
1	車いす体験	2
2	高齢者体験	2
3	アイマスク体験	1
4	聴覚障がい関係(手話関係含む)	1
5	視覚障がい関係(盲導犬関係含む)	1
6	福祉機器貸出	14
合 計		21

イ ふくしチャレンジスクール(ひたち福祉・医療探検少年団)

市内の小中学生を対象に、共に体験し学びながら、福祉活動やボランティア活動、医療に関する理解を深めてもらうため、日立市職業探検少年団の一つである「ひたち福祉・医療探検少年団」の活動を兼ねて実施し、福祉や介護、医療等に関する職業観を育むことができた。(参加者13人)

【開催状況】



期 日	内 容	会 場	講 師 等
7/28	聴覚に障がいのある方、手話通訳の方のお話し(手話体験)	福祉プラザ 会議室A B	・日立視聴覚障害者協会 新井 奈美子氏 及川 勝子氏 ・手話通訳者 鈴木 聡子氏 丹治 令子氏
8/3	介護施設についてのお話しと認知症 サポーター養成講座	福祉プラザ 会議室A B	日立市高齢福祉課基幹型 地域包括支援センター 係長(保健師) 藤井 麻紀子氏 保健師 大谷 敦子氏
11/13	医療施設の役割や、医療・看護の仕事について	福祉プラザ 会議室A B	(株)日立製作所日立総合病院 新生児集中ケア認定看護師 小柳 ひとみ氏
12/11	防災のお話しと救急教室	福祉プラザ 大会議室	日本赤十字社茨城県支部 救急法講習指導員

ウ 福祉作文コンクール事業

市内の小中学校に通う児童・生徒が、日常や学校生活の中で「福祉」について感じたこと、体験したこと、優しい気持ちになったことなどを作文で表現することにより、次世代を担う子どもたちからのメッセージとして、広く市民に伝えることを目的に開催した。

- ・対象：小学生及び中学生
- ・応募数：小学校6校24人、中学校3校7人
- ・入選者：最優秀賞：田尻小学校5年 武田隼斗さん「命はひとつ」
優秀賞2人、特別賞6人
※最優秀賞は、社協だより及びホームページに、優秀賞並びに特別賞は、ホームページに掲載。

(16) おもちゃライブラリー等運営事業

ア 福祉プラザおもちゃライブラリー

子育て支援事業の一環として、福祉プラザにおいて、3団体(J&Bグループ、ポシェットの会、日立市更生保護女性会)の協力により、おもちゃライブラリーを開設し、親と子が安心して交流できる場を提供した。

また、毎週火曜日には子育て相談の一環として保育士を配置し、子育て中の保護者等の相談に応じるなど、事業の充実に努めた。

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、時期により中止。子育てに関する講座等についても時期により中止)

【利用状況】

実施回数(回)	利用延組数(組)	利用者延人数(人)	ボランティア協力延人数(人)
126	98	210	346

【相談活動状況】

実施回数	相談件数	相談内容(件)					
		基本的生活習慣	発育発達	育児方法	生活環境	育児情報	その他
27	18	0	9	8	0	0	1

【講座等開催状況】

期日	内容	会場	団体
4/21	作って遊ぼう	福祉プラザおもちゃライブラリー	ポシェットの会
7/7	七夕まつり	福祉プラザおもちゃライブラリー	ポシェットの会
11/2	親子で楽しむ音楽ひろば	福祉プラザ大会議室	J&Bグループ
11/24	作って遊ぼう	福祉プラザおもちゃライブラリー	ポシェットの会
12/22	クリスマス会	福祉プラザおもちゃライブラリー	ポシェットの会
3/11	親子で作って遊ぼう	福祉プラザおもちゃライブラリー	日立市更生保護女性会

イ 地域型おもちゃライブラリー

市内全地区(23か所)の身近な地域において、地域関係者やボランティアの協力により、「地域型おもちゃライブラリー」を実施し、地域との交流を中心に親と子が安心して集える場を提供した。

また、相談活動(子育て相談・健康相談・親と子の相談)として各地区に保育士(市社協)、保健師(健康づくり推進課)、子育て支援サポーター(日立市子どもセンター)を派遣し、子育てに関する悩み等の相談に応じるなど、育児不安の軽減や情報提供に努めた。

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、時期により中止)

【利用状況】

地区	開設日数(開設日)	保護者数	子どもの人数	参加者数合計	ボランティア数
十王	24(毎週木曜日)	79	103	182	101
豊浦	18(第1・3水曜日)	50	61	111	76
日高	17(第1・3水曜日)	21	27	48	108
田尻	17(第2・4月曜日)	28	33	61	61
滑川	28(第1・2・3木曜日)	86	92	178	157
宮田	40(毎週金曜日)	94	113	207	202
中里	19(第2・4木曜日)	17	28	45	84
仲町	26(第1・2・3月曜日)	171	184	355	126
中小路	20(第1・3金曜日)	6	6	12	72
助川	19(第2・4木曜日)	57	69	126	134
会瀬	38(毎週金曜日)	73	96	169	199
成沢	21(第1・3木曜日)	62	61	123	127
油繩子	31(毎週火曜日)	130	116	246	150
諏訪	20(第1・3金曜日)	63	68	131	115
大久保	17(第2・4金曜日)	85	86	171	91
河原子	18(第1・3水曜日)	136	149	285	136
埴山	18(第1・3火曜日)	17	17	34	32
大沼	20(第2・4水曜日)	53	74	127	57
金沢	69(毎週火・木曜日)	427	456	883	265
水木	38(毎週月曜日)	154	167	321	247
大みか	24(水曜日<月3回>)	117	130	247	123
久慈	25(第1・2・3火曜日)	117	127	244	180
坂下	31(月曜日<月3回>)	141	197	338	195
合計	598	2,184	2,460	4,644	3,038

【相談活動状況】

区分	実施回数	相談件数	相談内容(件)					
			基本的生活習慣	発育発達	育児方法	生活環境	育児情報	その他
子育て相談	34	61	26	13	9	0	2	11
健康相談	24	77	24	47	1	0	3	2
親と子の相談	32	24	6	9	4	2	0	3
合計	90	162	56	69	14	2	5	16

(17) 子育て支援ボランティア養成事業

ア 子育て支援活動実践者専門講座

市内で子育て支援を実践しているグループや個人を対象に、今後のより幅広い活動のあり方を考える機会とするとともに、活動のスキルアップを目指すことを目的に講座を開催した。(参加者 23人)

【専門講座開催状況】

期日	内容	会場	講師
11/26	身近にあるものを使っておもちゃを作ろう	福祉プラザ 大会議室	子どもすくすくセンターきらりんタイム講師 斉藤 直子氏
12/3	笑顔がたえない居場所づくり ～子育てボランティアの強み～	福祉プラザ 大会議室	NPO法人ひたち親子の広場 母子保健心理職 照山 久美子氏

2 歳末たすけあい募金配分事業

理事会で決定された配分計画に基づき、生活困窮世帯への支給をはじめ、23地区での地域福祉活動や子育て支援活動、ボランティアグループやNPOへの助成をとおして福祉、ボランティア活動への支援を図った。

【支給及び助成結果】

(単位：円)

No	対 象	件 数	金 額	摘 要
1	特別援護世帯	196 世帯	1,568,000	生活困窮世帯（申請方式）
2	地区福祉活動支援	23 地区	7,590,000	23地区による地域福祉活動推進費
			1,456,000	あんしん・安全ネットワークづくり (要支援者への声かけ、安否確認)
			103,410	巡回安全サービス事業（家屋の点検活動）
3	子育て支援事業	23 地区	690,000	地域型おもちゃライブラリー運営支援費
4	心身障がい(児)者 団体等	6 団体	120,000	心身障がい(児)者福祉6団体【下表】
5	地域福祉団体支援	9 団体	180,000	福祉活動支援団体、グループによる年末年始事業助成（申請方式）【下表】
総 額			11,707,410	

【歳末の団体・ボランティアへの助成実績】

<ul style="list-style-type: none"> 心身障がい(児)者福祉6団体 (日立市肢体不自由児者父母の会、日立市視覚障害者協会、日立市聴覚障害者協会、日立市手をつなぐ親の会、日立重症心身障害児(者)を守る会、ハートねっと日立市民の会)
<ul style="list-style-type: none"> 福祉活動支援団体、グループによる年末年始事業助成(9団体) (アドバンス・クラブ、歩きing、日立市ダウン症親の集い、日立ゆうゆうクラブ、日立市母子寡婦福祉連絡会、NPO法人ひたち親子の広場、NPO法人ふきのとう、高鈴台団地女性会、茨城県卓球バレー協会)

3 地域活動支援センター（ゆうあい）事業

在宅の障がいのある利用者を対象に、各種講座や個別（外出）支援等をとおして日常生活における生きがいと自立の助長に努めた。

また、利用者の活動やゆうあい事業を市民に広く紹介するため、「第15回ゆうあい美術展」を開催した。美術展には、利用者の創作した作品102点を展示した。

【利用状況】

- ・開 設 日：242日
- ・登録人数：16人
- ・利用者人数：延べ523人
- ・利用相談：延べ10人

【講座等実施状況】

No.	講 座 名	実施日	受講者数	受講者等延人数
1	絵画	月2回	5	78
2	編み物		5	65
3	刺しゅう		3	26
4	フラワーアレンジメント		2	42
5	音楽		7	66
6	自主創作活動	随 時	16	221
合 計			38	498

【ふれあい交流事業】

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

【日中活動個別（外出）支援】

No.	支援内容	実施日	場 所 等	参加人数(延べ)
1	買い物	5/14	シーマークスクエア	2
2	作品展等	4/20	日立シビックセンター「ノンブラック双風展」	2
	見学	5/28	イオン東海店「東海村芸術祭」	2
合 計				6

【定期的な日中活動個別支援】

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

【ゆうあい美術展開催状況】(延べ来場者数80人)

実 施 日	事 業 名	会 場	出品者人数
3/1～3/4	第15回ゆうあい美術展	福祉プラザ会議室AB	12
・絵画13点・編み物15点・音楽32点・ビーズ1点・フラワーアレンジメント<生花2点/写真39点> 【合計：102点】			

【その他、作品展示会】

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

4 ふれあい健康クラブ事業

生活機能が低下している高齢者等を対象に、市社協の看護師と指導員を派遣し、地域のボランティアの参加と協力を得ながら、健康チェックや健康体操、レクリエーション等をとおして介護予防や健康づくり、運動機能の機能維持・向上等に努めた。

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、時期により中止や、利用人数制限等を行った)
なお、中止期間中、「健康クラブだより」(1回)を作成し、利用者等に配布した。

(1) 実施状況

地区名	ク ラ ブ 名	会 場	実施回数	利用者		ボランティア 延べ人数
				登録 人数	延べ 人数	
十 王	十王ふれあい健康クラブ	十王交流センター	12	17	148	74
豊 浦	豊浦健康クラブ	豊浦交流センター	19	18	260	152
日 高	にこにこクラブ	日高交流センター	19	26	310	172
田 尻	さんあいクラブ	田尻交流センター	15	18	182	185
	さんあいクラブ	はまぎく荘	19	18	203	148
滑 川	滑川ふれあい健康クラブ	滑川交流センター	19	27	202	125
	山下ふれあい健康クラブ	山下集会所	18	10	142	93
宮 田	宮田ふれあい健康クラブ	宮田交流センター	18	25	201	67
中 里	中里ふれあい健康クラブ	中里交流センター	18	38	348	160
仲 町	仲町いきいき健康クラブ	仲町交流センター	20	19	285	233
中小路	中小路健康クラブ	中小路交流センター	16	17	91	78
助 川	あい・愛教室	助川交流センター	19	22	233	227
	ゆう・遊教室	助川中学校	18	20	234	186
会 瀬	会瀬ふれあい健康クラブ	会瀬小学校	19	19	241	135
成 沢	成沢ふれあい健康クラブ	成沢交流センター	18	18	244	125
	青葉台ふれあい健康クラブ	青葉台団地集会所	21	17	280	136
油縄子	ゆなごはつらつクラブ	油縄子交流センター	18	15	151	142
諏 訪	すわさわやかクラブ	諏訪交流センター	20	25	267	173

大久保	大久保すこやか元気クラブ	大久保交流センター	19	25	223	133
河原子	かわらご元気クラブ	河原子交流センター	18	22	246	196
塙山	体操サロン	塙山交流センター	21	23	243	89
大沼	大沼ふれあい健康教室	大沼交流センター	18	21	240	161
金沢	金沢ふれあい健康クラブ	金沢交流センター	20	38	300	134
水木	ふれあい花水木会	水木交流センター	20	31	328	158
大みか	大みかふれあい健康クラブ	大みか交流センター	19	12	188	111
久慈	久慈ふれあい健康クラブ	久慈交流センター	17	22	173	141
坂下	坂下ふれあい健康クラブ	南部支所	19	20	245	148
	坂下いきいき健康クラブ	久慈川日立南交流センター	19	11	165	129
合 計			516	594	6,373	4,011

(2) ふれあい健康クラブ事業関係者会議の開催 (2回開催)

【第1回】

- ・期 日：10月27日 (水)
- ・会 場：福祉プラザ 大会議室
- ・内 容：
 - ・令和2年度ふれあい健康クラブ事業にかかるアンケート結果報告について
 - ・令和3年度ふれあい健康クラブ事業登録状況について

【第2回】

- ・期 日：12月16日 (木)
- ・会 場：福祉プラザ 会議室A B
- ・内 容：令和4年度ふれあい健康クラブ事業について

5 介護相談員派遣事業

(1) 介護相談員の派遣

専門資格（介護福祉士、介護支援専門員等）を有する7人の相談員が介護保険施設や在宅サービスの利用者宅を訪問し、利用者からの疑問や不安、不満等の声を聴き、その解消を図るなど、利用者と事業者の橋渡し役を担った。

また、相談内容を事業者につなぐほか、利用者や家族に対してフォーマル・インフォーマルサービスの情報を提供するなど、介護サービスの質的向上にも努めた。

- ・派遣登録事業所数：140事業所

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、時期により事業所への訪問を中止した)

【相談件数及び内容】

相談件数	相談内容 (件)								延訪問事業所数		稼働日数
	日常生活全般	制度全体	要介護認定	事業者設備	サービス内容	ケアプラン	利用料	保険料	施設	在宅	
6,966	6,201	22	58	130	500	29	23	3	594	34	222

(2) 事業者連絡会の開催 (3回開催)

ア 介護相談員事業者連絡会

介護事業所間の情報交換やサービス等について協議をする場として実施した。

(2回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため資料配布のみとした)

また、事業者あてに訪問等による相談内容をまとめた報告書や介護情報等を掲載した「介護相談員だより」を作成し、配布した。(2回)

【連絡会開催状況】

11/12	食べるを支える ～高齢者の口腔機能と口腔ケア～	福祉プラザ 大会議室	株式会社ヒューマンサポートライフひたち 歯科衛生士 平内 雪子氏
-------	----------------------------	---------------	-------------------------------------

(3) 介護や介護保険の事なんでも相談の開催（11回開催）

介護に関する悩みや不安を軽減できるよう、誰でも気軽に相談できる相談会を実施した。
相談者数：17人

6 ふれあいサロン事業

外出の機会が少ない高齢者等を対象に、地区関係者やボランティアが中心となり、近隣で気軽に集まることができる場所で「ふれあいサロン事業」を実施し、仲間づくりや介護予防、健康増進に努めた。（年度末：116サロン）

- ・登録者数：2,357人
 - ・実施回数：延べ2,000回
 - ・利用者数：延べ19,825人
 - ・ボランティア数：延べ5,287人
- （新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、時期により中止や、人数制限等を行った）



(1) ふれあいサロン事業地区関係者会議の開催（2回開催）

【第1回】

- ・期 日：10月27日（水）
- ・会 場：福祉プラザ
- ・会議内容：令和3年度ふれあいサロン事業について

【第2回】

- ・期 日：12月16日（木）
- ・会 場：福祉プラザ
- ・会議内容：令和4年度ふれあいサロン事業について

(2) ふれあいサロン健康相談・講話

健康増進の充実強化を図るため、市（健康づくり推進課）と連携し、各サロンに看護師、歯科衛生士、栄養士、保健師等を派遣し、「ふれあいサロン健康相談・講話」を実施した。

（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、時期により中止）

【実施状況】

実施 サロン数	参加者数	相談件数	相談内容				
			生活習慣病	栄養	口腔	介護予防	制度案内
74	988	3	1	2	0	0	0

(3) 地域介護予防活動啓発事業

「社協だより」（5回）やホームページを活用して、健康や介護予防への理解とともに、ボランティア活動・社会貢献活動への啓発・普及を図った。

【令和3年度ふれあいサロン事業活動実績】

地区名	名 称	会 場	実施回数	延べ利用者数	延べボランティア数
十 王	いぶき台団地ふれあいサロン	いぶき台団地集会所	23	269	50
	すみれサロン	池の端団地集会所	48	392	55
	高原交友会	たかはら自然塾	31	278	72
	友部ふれあいサロン	十王交流センター	27	171	27
	お元気サロンひまわり	池の端団地集会所	10	63	14
	ふれあいサロン山部	山部生活改善センター	53	267	52
	サロン白藤	十王交流センター	18	124	19
	川上ふれあいサロン	川上ふれあいセンター	13	67	14
	あたごサロン	伊師町田園都市センター	16	132	16
	サロン伊師浜	伊師浜生活改善センター	13	268	24
	太陽健康クラブ	十王団地集会所	17	169	19
豊 浦	いくべか茶話会	豊浦交流センター	8	111	80
	四ツ葉サロン	四反田集会所	7	59	7
	すみれ会サロン	砂沢老人の家	7	114	8
	トンボサロン	豊浦交流センター	8	42	9
	みさきサロン	小貝ヶ浜集会所	8	130	24
	ひまわりサロン	川尻団地集会所	8	92	79
	サロン豊会	豊良台団地集会所	7	85	44
日 高	宿東おげんきクラブ	宿東自治会集会所	6	138	18
	西町おげんきクラブ	小木津西町集落生活改善センター	4	53	9
	松ヶ丘ふれあいサロン	松ヶ丘集会所	4	63	4
	静原おげんきクラブ	静原集会所	8	174	49
	小木津浜おげんきクラブ	小木津浜改善センター	7	119	39
	ロイヤルサロン小木津山	自然山集会所	6	95	49
	報徳おげんきクラブ	報徳集会所	7	134	23
田 尻	田沢ふれあいサロン	田沢団地公民館	13	144	35
	上相田ほっとサロン	上相田団地集会所	8	137	24
	田尻ふるさとサロン	田尻交流センター	8	124	85
	下相田ほほえみサロン	はまぎく荘	12	190	78
	天神前むつみサロン	天神前むつみ会集会所	17	230	34
滑 川	田尻にここサロン	田尻団地集会所	16	366	122
	田中ふれあいサロン	田中集会所	7	39	53
	あけぼのふれあいサロン	滑川交流センター	7	29	36
	山下ふれあいサロン	山下町集会所	6	21	38
宮 田	かみあいふれあいサロン	上合団地集会所	9	89	71
	あかねふれあいサロン	宮田神田町集会所	15	157	2
	神田ふれあいサロン	宮田交流センター	8	105	1
	ふれあいサロン北町	宮田交流センター、本宮老人福祉センター	8	302	19
	ふれあいサロン東友	東友公民館・宮田交流センター	15	225	35
	浜の宮ふれあいサロン	原前アパート集会所	10	104	12
中 里	清幡ふれあいサロン	清水浜改善センター	8	74	0
	きららニコニコサロン	入四間若者センター	14	75	29
	たまだれなかよしサロン	中里交流センター	6	84	36
	岡町ふるさとサロン	岡町公民館	5	32	24
	里川いきいきサロン	東上渚老人の家	8	81	32
	ナデシコふれあいサロン	中深荻公民館、菅公民館、呉坪公民館	10	86	61
	アップルサロン	西上渚2公民館	9	66	26
	睦会	西上渚一公民館	11	103	33
	アンダンテ岩折サロン	岩折農村集落センター	11	51	34
	サロンわかば	仲町交流センター	7	27	4
仲 町	おしゃべりサロン	仲町交流センター	9	60	86
	百合会サロン	仲町交流センター	9	44	4
	高鈴台サロン	高鈴台団地公民館	18	208	55
	ひまわりサロン	高鈴少年広場	31	236	0
	柴の沢サロン	高鈴少年広場・日鉱柴の沢農場事務所	68	1,423	0
	新町サロン	新町公民館	10	115	3
	白銀サロン	榎平公民館	9	42	7
	懐メロあったかさサロン	宮田栄町公民館	4	42	7
中小路	中小路ふれあいサロン	中小路交流センター	10	150	39
	旭町ふれあいサロン	旭町集会所	9	72	18
	平和町ふれあいサロン	平和町大和クラブ	5	27	15

【令和3年度ふれあいサロン事業活動実績】

地区名	名 称	会 場	実施回数	延べ利用者数	延べボランティア数
助 川	鳩が丘ふれあいサロン	御殿山集会所	30	277	54
	永正ふれあいサロン	永正地区集会所他	68	423	104
	高砂会ふれあいサロン	かしま老人の家・上町集会所・助川交流センター	62	251	75
	城南ファイトサロン	城南町健康広場、城南町公民館	60	450	210
	城南ふれあいサロン	城南町公民館	81	626	49
	城南ファミリーミュージックサロン	町内カラオケ喫茶店	17	75	29
	城南5ふれあいサロン	城南アパート集会所	37	363	100
	かしまふれあいサロン	助川交流センター	31	233	122
会 瀬	会瀬ひだまりサロン	会瀬小学校地域交流室	17	63	117
	会瀬サロン・虹	会瀬交流センター	17	215	40
成 沢	ニコニコ茶話会	成沢交流センター	8	34	62
	青葉台ニコニコ茶話会	青葉台団地自治会集会所	48	571	111
	堂平ニコニコ茶話会	堂平集会所	2	23	8
	西一支部ニコニコ茶話会	西一集会所	18	115	54
油 縄 子	油縄子ふれあい茶話会	油縄子交流センター	9	52	65
	国分ふれあい茶話会	国分集会所	8	82	47
諏 訪	第一小咲台ふれあいクラブ	第一小咲台集会所	19	173	99
	あったかサロン若宮	個人宅（諏訪町1-14-30）	18	66	112
	平和台サロン	平和台自治会集会所	37	242	142
	サロンあすなろ	諏訪台団地集会所	11	65	10
	ふれあいサロンおもいのまま	諏訪交流センター	7	66	64
	上諏訪ふれあいクラブ	上諏訪集会所	18	63	62
	サロン・さくら	個人宅（諏訪町2-4-27）	3	13	6
大久保	よかっぺサロン	大久保交流センター	6	127	119
	サロンde中丸	中丸集会所	27	134	0
	暇修館・いこいの体操	暇修館	6	41	56
河原子	ふれあいサロン	河原子交流センター	17	201	220
	サロン河原子	河原子集会所	10	77	76
塙 山	木曜いきいきサロン（茶話会）	塙山交流センター	59	947	0
	リスタートはなやま	塙山交流センター他	38	316	0
	森下生き生きサロン	森下集会所	6	39	20
	塙山クラブ	塙山団地集会所	62	410	0
	月曜サロン	塙山交流センター	38	253	22
大 沼	ふれあいサロン	大沼交流センター	10	63	44
	大沼団地サロン	大沼団地集会所	8	72	13
	海端団地サロン	海端団地集会所	10	126	10
	道師内サロン	道師内集会所	9	108	48
金 沢	お茶のみ会	金沢交流センター	18	303	164
	金沢・おしゃべりサロン	金沢団地集会所	9	103	12
	椿クラブ	根道ヶ丘団地自治会集会所	9	86	13
水 木	かねはたサロン	複合老人福祉施設 かねはた	10	163	103
	サロン東大沼	市営弥平台アパート集会所	17	410	41
	サロンめぐみ	県営和田前アパート集会所	10	175	0
	サロンみかの原	みかの原団地集会場	10	175	0
	サロンいずみ	水木交流センター	8	192	7
大みか	サロン・大みか	大みか交流センター	17	172	15
	サロン・なぎさ	大みか交流センター	16	95	15
久 慈	吹上生きいきサロン	老人福祉センター吹上荘	11	73	136
	一本松サロン	南部支所2階会議室(R4年度のみ久慈中学校)	10	94	134
	はまなすサロン	久慈交流センター	10	69	98
坂 下	坂下さわやかサロン	久慈川日立南交流センター	4	36	100
	石団げんき会	石名坂地域公民館他	81	863	81
	南高野健康クラブ	南高野集会場	13	120	13
	下土木内土曜会	東小沢老人の家	10	63	12
	留町さわやかサロン	留町民センター	11	209	11
	合 計		2,000	19,825	5,287

7 子どもの広場事業

子育て支援事業の一環として、十王交流センター及び南部図書館内に常設の広場を開設し、乳幼児等の親子が気軽に交流できる場の提供と参加促進を図った。

2つの広場ともに、保育士資格を有する担当職員を常時配置し、子育て等に関する相談活動や情報提供を行うほか、育児に役立つ内容をテーマに親子や保護者向けの講座を開催し、子育て支援の充実に努めた。

また、南部子どもの広場においては、地域や関係機関団体との交流を深めることを目的とした「南部子どもの広場事業における地域や関係機関団体等との情報交換会」を開催し、周辺地域の子育て支援活動の活性化に努めた。

【開催期日】7/1

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、時期により中止や、利用人数制限等を行った)



【実施状況】

区分	十王子どもの広場	南部子どもの広場
開設場所	十王交流センター 児童室	南部図書館 おはなしのへや
開設日時	月・火・水・金曜日(祝日を除く) 9:00~16:00	水・木・金・土曜日(祝日を除く) 9:30~16:30
開設日数	162日	168日
延べ利用者数	294組・661人	751組・1,843人

【親子交流事業(ぴよんぴよんタイム・ペンギンタイム)実施状況】

区分	十王子どもの広場(ぴよんぴよんタイム)	南部子どもの広場(ペンギンタイム)
	(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)	

【講座開催状況】

<十王子どもの広場>

期 日	テ ー マ	講 師	参加人数(人)		
			親	子	計
4/26	ミュージックケア	日本ミュージックケア協会 認定ワーカー 守部 美恵子氏・高橋 あゆみ氏	8	11	19
5/24	ベビーマッサージと講話	助産師 糸井 由紀子氏	5	5	10
6/28	骨盤エクササイズ	インストラクター 林 康子氏	8	5 (託児)	13
7/26	生活リズムと夏の健康管理について	市健康づくり推進課保健師	3	3	6
9/27	ラテンダンスエクササイズ	インストラクター 松崎 由香氏	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
10/25	歯の健康について	市健康づくり推進課 歯科衛生士	5	5	10
11/22	お菓子づくり	パティシエ 中里 美佳氏	6	6 (託児)	12
12/13	お正月飾りを作ろう	十王子どもの広場保育士	6	4 (託児)	10
1/31	離乳食のすすめかたについて	市健康づくり推進課栄養士	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
2/28	親子でダンス	インストラクター 小林 紀子氏			
3/28	ベビードダンス	インストラクター 住谷 美和氏			

合	計	41	39	80
---	---	----	----	----

<南部子どもの広場>

期 日	テ ー マ	講 師	参加人数(人)		
			親	子	計
4 /22	離乳食のすすめかたについて	市健康づくり推進課栄養士	3	3	6
5 /26	乳幼児の健康管理と生活リズムについて	市健康づくり推進課保健師	5	5	10
6/ 24	フラダンス	フラダンス講師 梶原 たえ子氏	6	5 (託児)	11
7 /29	ミュージックケア	日本ミュージックケア協会 認定ワーカー 守部 美恵子氏・高橋 あゆみ氏	4	5	9
9 /30	骨盤エクササイズ	インストラクター 林 康子氏	新型コロナウイルス 感染症拡大防止のため中止		
10/11	お菓子づくり	パティシエ 中里 美佳氏	8	9 (託児)	17
11/24	0、1、2歳のお子さんと遊ぶわらべ歌と絵本のお話	茨城キリスト教大学 教授 原口なおみ氏	4	5 (託児)	9
12/9	歯の健康について	市健康づくり推進課 歯科衛生士	6	6	12
1 /27	救急講座	日本赤十字社茨城県支部	新型コロナウイルス 感染症拡大防止のため中止		
2 /24	親子で楽しもう	南部子どもの広場保育士			
3/ 17	ベビーマッサージと発育についてのおはなし	日立助産師会 田畑 精子氏			
合 計			36	38	74

【相談活動状況】

区 分	実施回数	相談件数	相 談 内 容 (件)					
			基本的 生活習慣	発育 発達	育児 方法	生活 環境	育児 情報	その他
十王子どもの広場	162	20	9	3	0	0	5	3
南部子どもの広場	168	123	28	21	27	0	20	27
合 計	330	143	37	24	27	0	25	30

8 日立市成年後見サポートセンター事業

成年後見制度等の相談や申立の支援を行うとともに、関係機関との連携を図りながらネットワークの構築を進めた。

また、判断能力が低下した認知症高齢者や知的・精神障がい者等に福祉サービスの利用手続きや金銭管理サービス等を提供する日常生活自立支援事業を引き続き実施するとともに、さらに判断能力の低下が著しい方には、法人後見における身上監護や財産管理をとおして、住み慣れた地域において安心して暮らし続けられるよう権利擁護に努めた。

(1) 成年後見制度に関する利用相談や申立の支援

成年後見制度の概要説明をはじめ、後見の申立に関する相談等に応じた。なお、市民をはじめ、福祉関係の専門職からの相談にも多数応じた。

また、「成年後見に関する休日相談会」を実施。対象者からの幅広い相談に応じた。(3回開催)

【開催期日】8/28、11/28、2/26 (相談者：7人)

【相談件数】

	相談形態		区分		性別		年齢層		
	電話	来所	新規相談	継続相談	男性	女性	未成年	成年	高齢者
件数	54	60	95	19	58	56	0	71	43

【相談内容】

相談内容	成年後見制度に関するもの	遺言・相続・遺産	身元保証	今後の生活	銀行・証券関係	その他
件数	126	14	4	10	11	23

(2) 成年後見制度に関する普及・啓発

日立市成年後見サポートセンターのパンフレットを各種相談機関等に配布し、身近な相談窓口としてのPRを行った。

また、関係団体等の依頼に応じて、制度の理解につなげる研修会「出前講座」を実施した。(2回開催)

【講座期日】5/31、6/3 (参加者：65人)



(3) 市民後見人養成講座フォローアップ研修

令和元年度に実施した市民後見人養成講座の受講者を対象に、昨年度に引き続き、より具体的な内容の研修を実施。市民後見人の新たな人材育成に努めた。

【開催期日】10/21 (参加者：13人)

【研修内容】

研修内容	講師
ご存知ですか？後見人の事務 ～最高裁判所 DVD 放映～	
相続について	近藤 識之 弁護士 (近藤法律事務所)
事例研修(具体的な活動について、グループワーク・ロールプレイ)	稲嶺 裕子 社会福祉士 (権利擁護・成年後見センターばあとなあいばらき)

(4) サポートセンター運営委員会 (4回開催)

弁護士、医師、社会福祉士等をメンバーに委員会を組織(12人)し、後見制度における広報、相談、制度の利用促進、被後見人の支援等について検討を行った。

【開催期日】6/17、9/16、11/18、3/17

(5) 法人後見事業

社会福祉法人として法人後見の受任を行った。

【令和3年度受任状況】

区分	受任件数 (R2)	受任状況(R3)			
		新規	終了	継続	合計
後見	0	5	0	0	5
保佐	0	0	0	0	0
補助	1	0	0	1	1
合計	1	5	0	1	6

(6) 日常生活自立支援事業

判断能力の不十分な認知症高齢者、知的または精神的に障がいのある方などに対して、福祉サービスの利用援助や金銭管理、書類等の預かりサービスを行い、利用者の権利を守り、日常生活を支援した。

ア 利用者の状況（利用者数：17人）

※表上段：人数 表下段：割合（%）

区分	性別		合計	生活拠点			
	男性	女性		在宅	施設	グループホーム	入院
認知症高齢者	4	4	8	3	4	1	0
	50.0	50.0	100	37.5	50.0	12.5	0
知的障がい者	2	1	3	3	0	0	0
	66.7	33.3	100	100	0	0	0
精神障がい者	3	3	6	2	0	0	4
	50.0	50.0	100	33.3	0	0	66.7
合計	9	8	17	8	4	1	4
	52.9	47.1	100	47.1	23.5	5.9	23.5

イ 契約・解約の状況

区分	契約件数	解約件数	解約の理由
男性	2	5	本人死亡：4件、成年後見人へ引き継ぎ：1件
女性	1	5	本人死亡：5件
合計	3	10	

ウ 利用者の年齢

区分	最高齢	最年少	平均年齢	全体平均
男性	84歳（認知症高齢者）	59歳（精神障がい者）	72.1歳	71.4歳
女性	96歳（認知症高齢者）	23歳（知的障がい者）	70.6歳	

エ 生活支援員会議（2回開催）

生活支援員を対象に会議を開催した。日立市の実施状況や相談・契約状況などについて情報共有および意見交換を行った。

【開催期日】9/29、3/14

オ 生活支援員研修会（生活支援員会議と合同で開催）

生活支援員を対象に研修会を開催した。高齢者などを狙った詐欺が多発していることから、日常的に注意が必要であることや被害に遭った際の対応の仕方などについて確認した。

【開催期日】3/14

9 生活困窮者自立相談支援事業

生活困窮者自立支援法に基づき、市役所内に「日立市自立相談サポートセンター」を設置し、新たに「家計改善支援事業」を加え、事業の強化を図り、様々な理由で生活困窮に陥った世帯に対して、複合的な生活課題を広く受け止め、課題を整理しながら、解決方法などを一緒に考え、暮らしの立て直しのサポートに努めた。

さらに、必要に応じて市関係課や関係機関につなげ、課題を共有するなど、包括的な支援に努めた。また、関係機関への同行やアウトリーチによる相談を受けるなど、生活困窮世帯が自立した生活を送ることができるように支援した。

(1) 自立相談支援事業

【新規相談受付件数】

相談件数	相談形態		性別		年齢層			
	電話	来所	男性	女性	未成年	成年	高齢者	不明
223	14	209	129	94	5	185	32	1

※相談支援件数：延べ1,374件

※生活福祉資金特例貸付に関する相談を含めた新規相談件数：1,458件

【主な相談内容】

収入・生活費	194	家族との関係	17	子育て	7
仕事探し、就職	124	食べるものがない	15	地域との関係	0
家賃やローンの支払い	75	仕事上の不安・トラブル	13	DV・虐待	0
病気や健康・障害	49	債務	12	その他	5
税金や公共料金の支払い	34	介護	11	合計	584
住まい	19	ひきこもり・不登校	9		

※新規相談（223件）のうち相談者自身が選択した相談内容＜複数選択式＞

(2) 住居確保給付金の給付支援

離職等により経済的に困窮し、住居を失った方、または失う恐れのある世帯に対し、市が給付する一定期間の家賃相当額の申請手続きを進めるとともに、つなぐハローワークひたちと連携しながら、再就職に向けた支援を行った。

なお、今年度は、45世帯に対して、延べ138か月、4,708,000円の給付につなげた。

(3) 家計改善支援事業

家計収支のバランスが取れていないなど、家計に課題を抱える相談者からの希望に応じ、相談者自身が家計の状況を理解できるよう、家計計画表等を作成して、家計の「見える化」を図った。また、「家計再生プラン」を相談者とともに作成し、支援の方向性を提案することで、相談者の家計管理の力を高めるなどの支援を行った。（利用者9人）

(4) 支援調整会議の開催（12回開催：月1回）

相談者個々に応じた実効性のあるプランを策定するため、つなぐハローワークひたちや市関係課等が参画する会議を定期的で開催し、プランの適切性や支援方針等について協議した。

また、プラン終結時には、これまでの支援経過と成果を評価し、自立相談支援機関として支援を終結するかを検討した。

（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、うち6回は書面開催）

(5) 連絡会議への参画

庁内関係課所が対象者の情報を共有し連携することで、対象者の早期発見・早期支援を図るなど、事業の円滑な推進を目的とした会議に参画した。

（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催）

(6) 普及・啓発活動

各コミュニティ単会及び市役所関係課所にサポートセンターのチラシを配布し、身近な相談窓口としてのPRを行った。

10 その他の事業

(1) 講師派遣

各団体からの依頼に応じて、市社協の進める小地域福祉活動、ボランティア活動等に関する講演・講話を実施した。

期 日	内 容
9月7日(火)～12月14日(火) の間、計11日	健康支援と社会保障制度「社会福祉」講義①～⑮ (日立メディカルセンター看護専門学校)

(2) 実習生の受入れ

社会福祉士の国家資格取得カリキュラムの一環「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」として実習生を受入れ指導を行った。

実習生：3人（茨城キリスト教大学生生活科学部心理福祉学科3年）

期 間：8月10日～9月17日（2人）、10月11日～11月15日（1人）

いずれも24日間

(3) 市民等からの各種相談事業

社協が実施している各種事業をはじめ、市内の福祉サービス等に関して、市民や各種団体、企業、行政等から相談を受け、幅広い対応に努めた。

件数	性別		年齢区分			形態			相談者										対応の結果						
	男	女	未成年	大人	高齢者	電話	来所	個人	施設・事業所	団体	企業	学校	行政	地域	県・市町村社協	民生委員	ボランティア相談コーナー	病院	ケアマネ	情報提供	ボランティア派遣・紹介	話を聞くのみ	市社協事業の紹介	他機関に繋ぐ	資料、資材送付
3545	1929	1616	18	3020	507	923	2622	2947	131	42	18	7	104	119	31	9		52	87	1783	128	1211	278	133	12

各種相談・問合わせ																	ボランティア相談・コーディネート													
社協事業以外	市社協組織・運営	生活福祉資金	社会福祉資金	自立相談サポートセンター	日常生活自立支援事業	成年後見制度	日常生活サポート事業	子ども食堂	ふれあいサロン	ふれあい健康クラブ	フードバンク	おもちゃ、子どもの広場	福祉教育	あんしん・安全ネットワーク	地区社協全般	善意銀行	広報関係	物品・会議室貸出	社協会費	共同募金	援護金関係	地域活動支援センター	派遣依頼	活動希望（福祉）	活動希望（環境）	活動希望（文化・芸術・国際）	活動希望（スポーツ）	活動希望（災害）	相談、問合わせのみ	NPO
8	20	1481	14	1125	478	105	6	4	5	1				6	13	2		3	14	1		128	16					114	1	